



8月26日(火)～28日(木)の3日間、富士見中学2年生が事業所や商店、施設などで「職場体験学習」を行いました。その活躍や体験の一部を、広報担当として職場体験をした2名の生徒さんがお伝えします。

柳沢土木で貴重な体験!

体験者2名は、柳沢土木で除雪機と、タイヤシャベルの乗車体験をしました。

ほかにはパイプ切り、エンジンをつける、コンクリートを切るなどの様々な体験をしました。

体験者2名は「難しかったり、大変なこともあったけど、面白く楽しかった。」

「大型機械には初めて乗って、動かすのが難しかったけどしっかりとできた。」と話していました。



将来に役立てたい…



西友では、3名の体験者が商品の陳列を行っていました。体験者は「新しい商品を奥に詰めるのが大変。」「この仕事に就くかは、わからないけど、将来に役立てたいと思う。」

アルバイトの方は「商品の場所を覚えるのは大変だけど、あっという間に時間が過ぎていき、とてもやりがいがある。」とそれぞれ話していました。

ENJOY・THE・保育園!!



富士見保育園では2名が体験を行いました。

体験者は運動会の練習で、一緒にダンスをしていました。

「子どもたちとふれ合えるのが楽しい。」「考えていることが面白い。」ととても楽しそうな様子でした。職員の方は「子どもの成長を見られるときに、やりがいをかんじる。」と話していました。



「広報」を体験して

私は始め、役場という場所のことはあまり知らなくて、なんとなくつまらなそうなイメージがあり、職場体験の場所が役場の広報に決まった、と聞いたときは、がっかりしました。ですが、1日目に役場に来て、3日間の行動予定の紙をもらうとそれまでの役場のイメージが変わり、こんな仕事もあったんだと、びっくりしました。広報の仕事には、取材と編集があり、体験では、他の職場に体験に行っている人たちの取材をし、広報ふじみの1ページを作らせてもらいました。初めての体験で、最初で最後かもしれないでの、とてもよい体験になりました。ありがとうございました。



河角さん



消防署でのボクたち

体験者3名は、消火器の使用や放水体験など実践的な仕事を体験しました。

体験者は「知らないことを知ることができた。」「いい体験ができたよかったです。」とうれしそうに語っていました。

職員の方は「感謝がとてもありがたく、やりがいがある仕事だ。」署長さんは「将来は自分の得意なこと好きなことを探して、頑張ってほしい。」と話していました。



目指せ! 保育士!

子育てネットワークAiAiでは、小さな子どもたちと遊んだり、散歩をしたりしました。

体験者は「小さな子たちに目線をあわせたり、対応するのは大変だけど、一緒に遊んでふれ合えるととても楽しい。」「将来は保育関係の仕事に就きたい。」と話していました。



職員の方は「対応が難しく心配な時もある。」と話していました。



真剣な体験者たち

高原リゾートでは、ジュネス八ヶ岳1名、ゴルフ場2名が体験しました。

ジュネス八ヶ岳の体験者は「ホテルマンになりたい僕にとって、いい体験になりました。」と話しました。ゴルフ場の2名は「お客様に喜んで、お礼を言つてもらえることがとてもうれしく、やりがいがある。」と話していました。



「広報」を担当して

この職場を体験する一日目は、とても緊張しました。けれど、広報担当者さん、職場の皆様のおかげで、緊張もとけていきました。ありがとうございました。広報という仕事は、最初自分は読むだけでしたが、作るということになると、いろいろ分からぬことがあって不安でした。自分にとって良い体験になったと思います。

この広報ふじみは広報担当者さんのサポートを受けながら作ったものです。読みにくかったり、分からぬところもあるかもしれません、読んでいただければ嬉しいです。



良邊さん

収穫作業の負担軽減を目指し

◆トマト収穫機実演会

9月4日(木)大平圃場の一角において、各地域の生産農家へ向けたトマトの収穫用作業機の実演会が開催されました。手摘み作業の場合、収穫・運びだし・計量まで約4つの工程作業を移動しながら行うのに比べ、収穫機は日除けの下で選別から運びだしまでの作業負荷が軽減され、計量も不要です。

参加した生産農家の方たちは、機械の概要説明を受けた後、意見交換をしました。

(提供:カゴメ株)



敬愛し、長寿を祝う

◆富士見町内敬老慰問

「多年にわたり社会につくしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨として、小林町長が9月12日(金)敬老慰問を行いました。富里の雨宮常正さん(写真:100歳)は、小林町長からの記念品などを受けとると、「ありがとうございます」と、元気にしっかりとお答えされていました。

町内在住で99歳以上の方は27名です。
(男性4名 女性23名)



姉妹町 西伊豆だより

黄金崎 愛称決定!

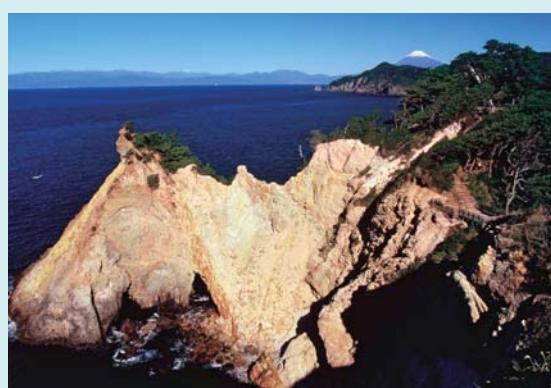
黄金崎公園にある夕陽を浴びて黃金色に輝く先端部分の岩、何に見えるかお分かりですか?実はこの部分「馬」の顔に見えるんです。意外と知られていないこの事実、地元の人でも「言われて初めて気づいた」とおっしゃる方もいます。

7月中旬から8月中旬まで、今年の干支にちなんでこの馬の部分の愛称を募集したところ、全国各地から作品が応募されました。親しみやすさのほか、覚えやすさなどを基準に審査を行った結果、

大阪府高槻市の方が応募した「馬(うま)ロック」が選ばれました。今回の公募では、県外からの応募が多くありました。また、西伊豆町内にある事業所が製造した「馬ロック」の形をしたクッキーも黄金崎公園休憩施設で販売することが決まりました。黄金崎は伊豆半島ジオパークのジオサイトの一つになっていることから、西伊豆町で初めてのジオ関連菓子になる予定です。



▲黄金崎の形をしたクッキー



▲夕陽を浴びると岩肌が黃金色に輝きます。

富士見町の皆さんも黄金崎を訪れたらぜひ、「馬ロック」をご覧いただくとともに、黄金崎クッキーをよろしくお願いします。

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育していく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。